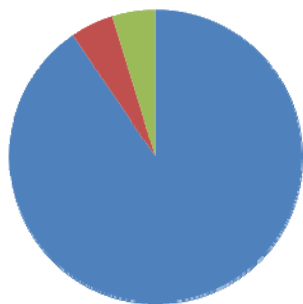


ワークポート新潟 ～就労支援と生活支援のワンストップサービス～

実績

区分	1月	2月	3月	年度計
利用者数	405人	718人	787人	1,910人
うち生活保護受給者等職業相談者数	133人	222人	227人	582人
就職決定者数	1人	7人	8人	16人
うち生活保護受給者等の就職者数	1人	4人	6人	11人

【利用者アンケート結果：ワークポートができてよかったと思いますか】



- **そう思う**
- **まあそう思う**
- **どちらとも思わない**
- **あまりそう思わない**
- **そう思わない**

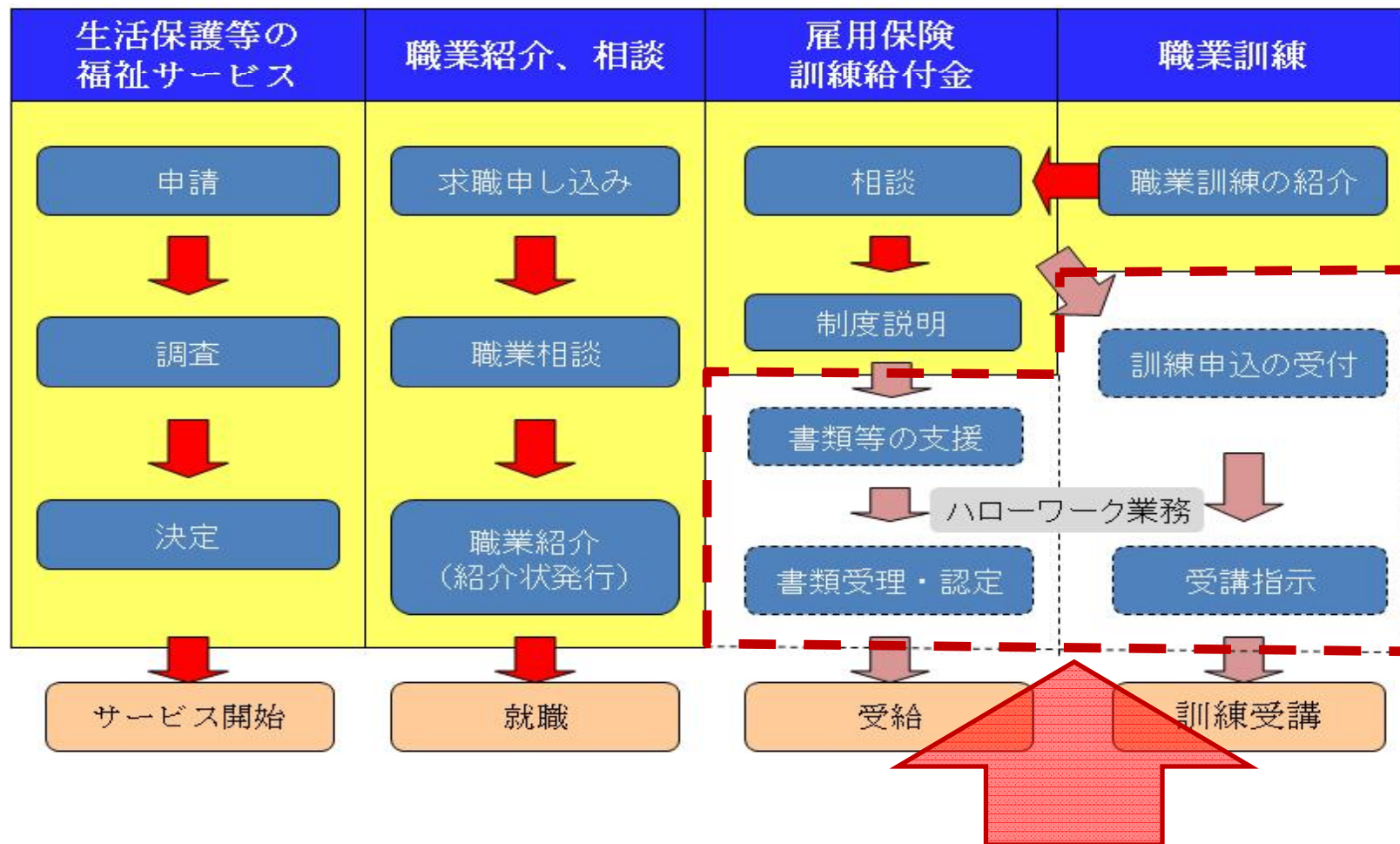
- ・ 東区役所に入って、とても利用しやすくて良かった
- ・ 自宅から近く、大変良かった

【参考】東区での「福祉から就労」支援対象者数

区分	1月	2月	3月	年度計
ワークポート	7人	5人	5人	17人
しごと館	2人			2人
ハローワーク新潟	1人	2人		3人

ワークポート新潟 ～就労支援と生活支援のワンストップサービス～

課題 → 不完全な一体的実施



紹介・相談から受講・受給まで完全に結びついていない
・失業手当などの各種給付 ・職業訓練の受講

ハローワーク求人情報の共有による可能性

■ 求人情報の共有

基礎自治体が実施する福祉サービスと一体となった
就労支援が実現可能に

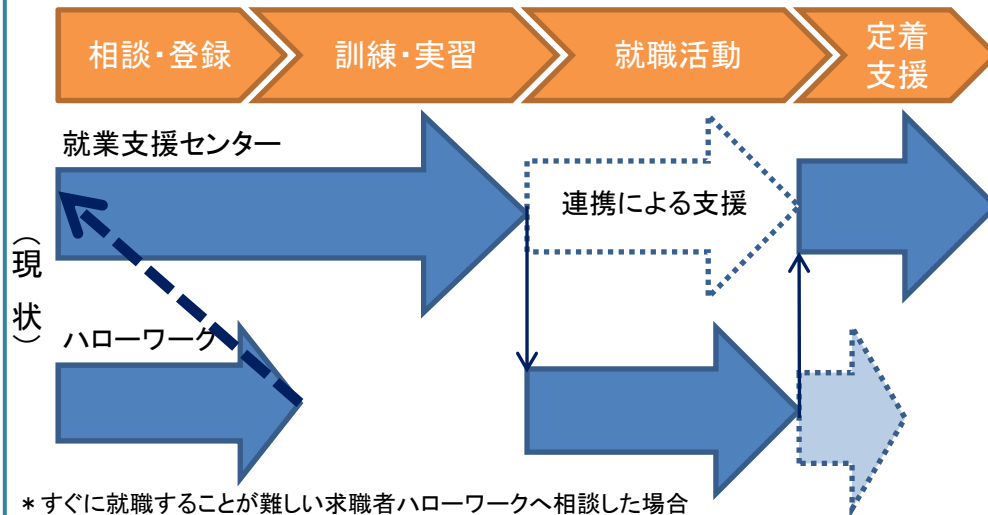
- ◆障がい者就業支援センター
事業の強化
- ◆ひとり親家庭の母等への
就労支援の強化

- ◆ハローワーク窓口機能の
全区役所展開
- ◆国と自治体の重複事務の
解消による行政効率化・
行政サービス水準の向上

総合的な生活支援の実現へ

事例1：障がい者就業支援センター事業の強化

障がい者就業支援



◆就業支援センターでは
十分な無料職業紹介ができない

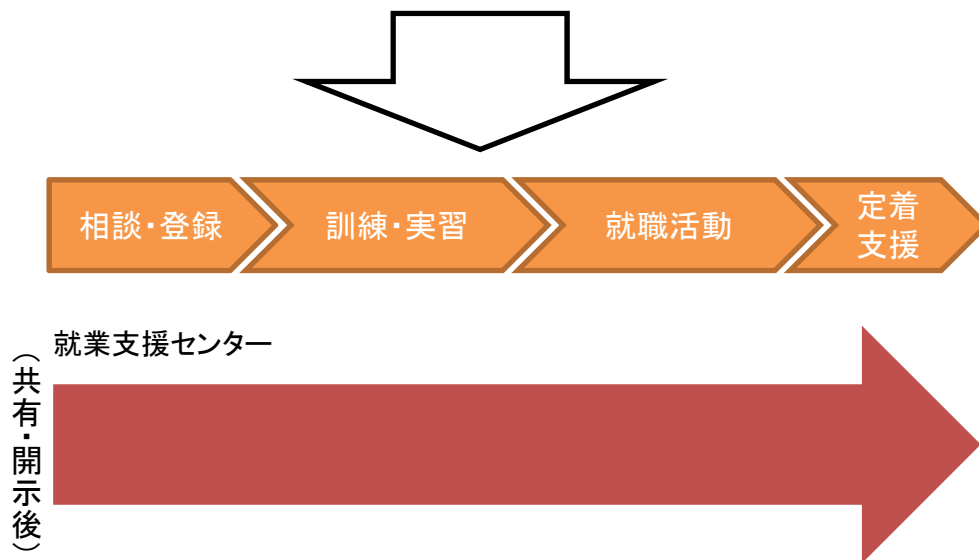
◆ハローワークでは
生活相談支援を行うことができない

ハローワークが有する
求人情報の共有・開示等による
ワンストップ化

<効果> 利便性向上, 業務効率化,
伴走型支援推進, 情報一元化

早期の就職, 離職率低下

雇用率向上



<さらなる強化のために>

- ・トライアル雇用制度や特定求職者雇用開発助成金事業等の権限移譲
- ・無料職業紹介事業の業務委託化

事例2:ひとり親家庭の母等への就労支援の強化

(現状)

新潟市

- ★自立支援プログラム策定
- ★就労相談

連携

ハローワーク

- ★職業紹介・求職申込
- ★公共職業訓練等の受講手続き
- ★雇用保険訓練給付金の手続き

～ハローワークが有する求人情報の共有・開示等により～

(共有・開示後)

相談から就職まで ほぼ全ての就労支援がワンストップ化

就職活動の時間がないひとり親家庭の母等が、市での様々な相談や手続きに合わせ、職業の紹介や求職の申し込みをすることが可能となる

ひとり親家庭の母等の就職率の向上

さらなるワンストップ化には…

- 公共職業訓練等受講手続き
- 雇用保険訓練給付金の手続き などの権限移譲が必要